地元の魅力「方言について」 第五回

H28 年 1 月 21 日

　17日未明から雪降り始め18日10時前まで降り続き、朝には15センチの積雪となる。湿雪(水分を多く含んだ、湿った雪)で柚子木が重みで枝おれてしまった、道路はなんとか通れそうだが、数年前の大雪では積雪多すぎ通行止めで苦労したことを思い出す。駐車場と通行路確保するため除雪、近隣の皆さんと道路を除雪した。
19日は天気回復で屋根残雪が突然落下して雨樋破損、道路に雪散乱し取り除く、落下時ドドドーと凄い音で危険感じる。20日屋根残雪落下し同様作業で疲れも溜まる。

　本題の方言、飯能のことばについて
　　″民俗茶ばなし”　小谷野寛一氏書及び“続おらがほうの標準語“　山岸　統書より抜粋

「飯能の人って、ずいぶんおかしな事を言いますね。ちゃんとした奥さんが、かさをかぶると言うのに驚きました。手拭いならかぶるだが、かさなら差すでなくちゃあね」と。
なるほど、どうかすると「かさをかぶる」と言うかも知れないと、恐れ入った。
　古い飯能の人たちは「くる」「きない」と言う。「くる」「こない」とちゃんと言わないで、育てるものだから、その子は他地区の学校へいって恥をかく。「きない」どころではない、「きられますか？」「きされますか」とさえ山間部では言う。

・いぼる ⇒怒る、怒ってどなる、すねるなどの意味をもつが、この辺では「しかる」方に
　使わないだろうか。いぼくる、えぼくる、とも言う。
・いっける ⇒のせる、持ち上げる、結いつける意味。
・えら ⇒たくさんの意味、はなばなしいこと。すぐれている意味をもつ。
・おぞい ⇒この辺では「悪賢い」とか「ずるい」とかに使っているようだが、「こわい」とか「恐ろしい」とか地方によって様々に使われている。
・口っぱじけ ⇒おしゃべりの事「口はじけ」とも言う。
・けたくそ ⇒そんなことは「けたくそが悪い」などと使い「縁起」のこと。
　けたいくそ「卦体糞」 いまいましいこと。けたくそ。けったくそ。
・たっぺ ⇒電柱をたっぺという県は多い。
・たてば ⇒立場、建場と書き、人の多く集まる所、たまり場、休憩所のこと。
・ねこそぎ⇒「こそぎ」は「こそげ」が正しく「こそげる」とは「けずりはがす」こと。
　根から全部けずりはがすとなれば「そっくり」ということになる。
・ひょうげる ⇒ふざける、ひょうきんな事。
・へらずぐち ⇒口のへらないのをよい事にして、出まかせにしゃべる事。
・へら ⇒むやみやたらと言う意味。「へらへんとう」ともいう。
・へた ⇒「へら」へらと全く同じ。飯能地方でも少しは使うだろうか？
・へし ⇒前と同じに、むやみやたらの意味。「おっぺす」と言い「押し合いへし合う」いう
・みして ⇒見せて　・みてくれ ⇒見た感じ・格好　・みやい ⇒見合い
・みんなん ⇒皆さん　・むけえ
・むけえ ⇒向い・迎え　・めえ ⇒前・以前　・めえばん ⇒毎晩　・もん ⇒者・物
・やだよ（う） ⇒いやだ・嫌い　・やりづれえ⇒遣りづらい　・やんな ⇒やれ・やるな
・ゆすぶる ⇒揺する　・ゆたて ⇒湯立て・風呂を沸かすこと
・ゆっつける ⇒言いつける・結いつける　・ゆば（あ）る ⇒呼ぶ
・よんど ⇒余程・よくよく　よんどの事でなくっちゃあ、帰ってこねえだわ。

衣・食・住の洗い出し
・きもん ⇒着物　・けえと・けっと ⇒毛糸　・じょうり ⇒草履　・ぬいそ ⇒縫い糸
・はだしたび ⇒地下足袋　・はんてん ⇒筒袖・羽織
・おかい ⇒粥、　腹っぴりして、おかい腹で、力が入んねえで参ったい。
・おしい ⇒汁・おつけ、
　たんとおしいをこせえたから、かまあず、おかありしてくらっしゃえよ。
・おじや ⇒「じゃ」は煮えること・雑炊・混ざる
　おまんまが、えら残っちゃって、なんだから、おじやにしたらや。
・おつけ ⇒お付け・味噌汁　・きそ（ちそ）っぱ ⇒紫蘇の葉
・けえがち ⇒貝・貝殻　・せいとう ⇒精糖・白砂糖　以上